

日本国際連合学会

2003年度(第5回)研究大会

日時：2003年5月31日(土)午前10時～午後5時
6月1日(日)午前10時～午後5時

会場：国際連合大学3階ウ・タント国際会議室

〒150-8304 東京都渋谷区神宮前 5-53-70 ☎03-5467-1259 Fax. 03-5467-1281

大会プログラム (訂正版)

全体テーマ：「日本、アメリカ、国連－創造的関係を求めて」

第1日：5月31日(土)

◇ 第一セッション(午前10時～午後12時30分)

テーマ：「日本と国連、アメリカと国連－比較的考察」

座長：

中央大学教授 横田 洋三

報告1：「日本と国連－その特徴と背景」

名古屋経済大学教授 宮崎 孝

報告2：「アメリカと国連－その特徴と背景」

日本国際問題研究所研究員 中山 俊宏

討論：「日本と国連、アメリカと国連－比較的考察」

防衛研究所助手 岡垣 知子

◇ 昼食(午後12時30分～2時)－理事会(場所：国連大学12階会議室)

◇ 第二セッション(午後2時～5時)－シンポジウム(日英両語で行い通訳はつきません)

テーマ：「日本、アメリカ、国連－創造的関係を求めて」

司会：

中央大学教授 内田 孟男

パネリスト 1：

中央大学教授 柳井 俊二

パネリスト 2：

駐日アメリカ公使 R.クリステンソン

パネリスト 3：

神田外語大学助教授 阪田 恭代

パネリスト 4：

国際基督教大学教授 R.バックレイ

パネリスト 5：

元国際連合大学学長室長 R.N.マリク

パネリスト 6：

国際連合大学学術研究官 青井千由紀

◇ 総会(午後5時～5時30分)

◇ 懇親会(午後5時40分～7時30分)：国連大学2階レセプション・ホール

第2日：6月1日（日）

- ◇ 第三セッション（午前10時～午後12時30分）－会員による独立研究報告
- 座長： 亜細亜大学教授 秋月 弘子
- 報告1：「国際刑事裁判所（ICC）の非当事国国民に対する管轄権」
中央大学大学院法学研究科博士後期課程 妻木 伸之
- 報告2：「国連の広報・情報流通におけるNGOの役割と責任-人権の分野を中心に」
東京大学大学院法学政治学研究科 大谷美紀子
- ◇ 昼食（午後12時30分～2時30分）－編集委員会（場所：国連大学12階会議室）
- ◇ 第四セッション（午後2時30分～5時）
- テーマ：「国連でのキャリア構築のために」
- 座長： 国際連合開発計画（UNDP）駐日代表 弓削 昭子
- 報告1：「国連人材セミナーの報告と今後の展望」
東洋学園大学教授 横山 和子
- 討論者： 国際基督教大学教授 山本 和
- 報告2：「国連日本人職員増強に対する日本政府の支援の現状と課題」
前外務省国際機関人事センター所長 伊藤 光子
- 討論者： 政策研究大学院大学
オーラルヒストリー・プロジェクト事務局長 石原 直紀

なお、ご出欠を同封の「参加申込書」にて、5月15日までに、ファックスでご返事下さい。また、お近くに参加ご希望の方がおられましたら、「参加申込書」をコピーして申込むようにお誘い下さい。当日傍聴者（傍聴料2日で500円）として歓迎いたします。